



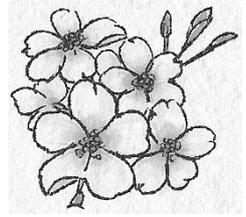
KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 山梨支部

山梨県 桃の会

出会う、つながる、わかちあう

会報第18号

2016年3月発行



●皆さまへのメッセージ

朝晩はまだまだ寒いですが、確実に春がそこまで来ている気配を感じるこの頃です。今回はKHJ 当事者体験 「今私が伝えたい事」 から一部をご紹介致します。「10年引きこもってそのあと社会復帰して10年経ったけれど、まだどこかで引きずって生きている自分がある。今の私にとってひきこもった期間は人生においてかけがえない時間になった。あの経験がなかったら現在の生き方はできなかったと思う。人知れずひっそりと必死に激闘していたあの体験は私の誇りだ。ひきこもりは弱いのではない、強いのである。」 一見無駄に見える日々。しかし、子供にとって一日一日大事な時を積み重ねているのですね。親・家族が精一杯できる事は子供の一番の理解者になる事ではないでしょうか。

(会長 篠原)

●2月例会レポート

【講演】山梨日日新聞「扉の向こうへ」取材班の4名の記者さんに、ひきこもり取材が始まった経緯や、取材を通して感じたことなどをお話し頂きました。当事者の方達へのとても優しいまなざしを通して記事が書かれたことが、記者さん達のお話を伺ってよくわかりました。心から感謝です。以下、記者さんたちの言葉をまとめました。

<前島記者> 『働かざる者食うべからず』と、社会がひきこもりの方を責めるのは間違い。当事者は怠けているのではなく苦しんでいる。場合によっては、命の問題に成り得ることを忘れてはいけない。当事者に『寄り添う』ことが大事だが、『寄り添う』ことを理解するのは難しい。」

<清水記者> 「取材を通して感じたことは、事実と事実の間にそれぞれの価値観があって、人により受け止め方が違ってくこと。当事者とはお茶をしたりして色々な話をしたが、記事に書けなかったエピソードが沢山あった。」

<戸松記者> 「学校や社会の中で、過剰なまでの同調圧力を感じて馴染めなくなることがひきこもりにつながるのでは。ひきこもりは特別な存在ではない。」

<木下記者> 最初に絵本『はやくはやくっていわないで』（益田ミリ著）を朗読。『ひきこもり』に代わる言葉として『Quest』（＝冒険、探求）はどうでしょう。当事者は、自分に何ができるのか何がしたいのかで、もがいている。Questはquestionやrequestにもつながる。ひきこもりの取材は、自分たちの出来事として行ってきた。当事者は真面目だから苦しむのでは。」



【桃の会を語ろう会】ケーキと飲み物をいただきながら、桃の会のこれまでの活動や今後のことについて意見交換をしました。美味しいものがあるせいか、いつものグループトークより雰囲気や和やかだった気がします。こういうのも時にはいいですね。参加された皆さんから出たご意見は、4月の会報と一緒に送りする予定です。

(レポート Sさん)

●2/21 ミニグループトークを行いました。

「子供の育つ道すじ」(佐々木正美)のCDを聞きました。改めて人が人として育つ為の重要なプロセスを再認識する時間となりました。基本的信頼=自分を信じる力、人を信じる力が重要であることの意味や「思いやり」の感情が育つためには それ以前にどのような経験の積み上げが必要なのか参加者の方々から「もっと早い時期に聞きたかった」「人間が成長する為には人との関係が不可欠である事を実感した」等のご意見感想を頂きました。(会長 篠原)

🍑 山梨県桃の会 3月例会のご案内 🍑

【日時】 3月13日(日) 13:30 ~ 16:30

【場所】 山梨県福祉プラザ 4F 会議室

甲府市北新1-2-12

駐車場は台数に限りがあります。

【参加費】 家族で1,000円(当事者は無料)

【内容】 ①「聴いてみよう、話してみよう」～当事者の方たちと親たちとの対話～

②グループトーク(小グループになり、思いを語り合しましょう)



【当事者スペース】 3月13日(日) 13:30~16:30

福祉プラザ1階 パソコン室で行います。どうぞお出かけください。



次回ミニグループトークのご案内

申し込み不要、無料です。お気軽にご参加ください。

今月は「発達障害の特性と対応について」というテーマで話し合います。

【日時】 3月19日(土) 10:00 ~ 12:00

【場所】 山梨県福祉プラザ 4F 第一会議室



<今後の活動予定>

平成28年度の活動日は、会場予約の関係で3月15日以降に決まります。ご了承ください。